

第 32 回統計科学セミナーのお知らせ

統計科学研究部門による第 32 回統計科学セミナーを、下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

東京理科大学総合研究院統計科学研究部門
共催: 東京理科大学データサイエンスセンター

問い合わせ先 (世話人)
東京理科大学創域理工学部情報計算科学科
安藤宗司 (shuji.ando[at]rs.tus.ac.jp)
桃崎智隆 (t.momozaki[at]rs.tus.ac.jp)

講演者: 石井秀明 (情報計算科学専攻 M2)

題目: 平均生存時間の推定法: カプランマイヤー法と一般化パレート分布の併用

日時: 2025 年 7 月 31 日 (木) 15:00~16:00

会場: 東京理科大学野田キャンパス 6 号館 1 階第 3 ゼミ室

会場と Zoom によるハイブリッド開催

概要

近年、がん免疫療法などの複雑なハザードが想定される事例が増加しており、時点生存割合や生存時間中央値などの単一時点のみを評価する指標では、全時点での生存時間の振る舞いを捉えることが困難である。このような状況下では、生存時間中央値に加えて、平均生存時間も報告する重要性が指摘されている。平均生存時間は生存時間の期待値で定義され、生存関数の曲線下面積と一致する。 Kaplan-Meier 法は生存関数の推定に広く用いられるが、最大観測時点が打ち切りとなる場合、それ以降の生存関数の推定量を定義できないため、平均生存時間を直接推定できない。本講演では、閾値までの生存関数を Kaplan-Meier 法で推定し、それ以降を一般化パレート分布で補完する手法を提案する。数値実験により、本提案手法の有用性を示す。

備考: 研究部門メンバー関係者以外のご参加については、問い合わせ先または部門所属の方 (<https://dept.tus.ac.jp/stat/member/>) までご連絡ください。